

20 湯土第 166 号

平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

湯河原町長 冨田 幸宏



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

日頃から道路行政にご尽力、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、道路財源見直しの中、当町においても道路整備のニーズは多く、
今後の道路行政について、別紙のとおり回答させていただきますのでよ
ろしくお願い申し上げます。

事務担当

湯河原町環境都市部土木課

TEL 0465-63-2111 内線 511

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

神奈川県湯河原町

- ・ 道路を取り巻く環境問題が大いに注目され、幹線道路の交通混雑・渋滞の解消は環境対策として、重要な課題となっていることから、幹線道路網の整備
- ・ 地域の日常活動や災害時の緊急活動を支える、安全で信頼性の高い道路網の確保
- ・ 高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、修繕等の補助制度の確立

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

神奈川県湯河原町

○現状

- ・ 当町は、神奈川県西南端に位置し、山・川・海という豊かな自然環境とともに温泉を有する観光資源豊富な町です。また、南に伊豆の観光地を控え首都圏からの観光客の交通の要衝であります。

しかし、西湘バイパスの石橋インターから伊豆方面に向かう真鶴道路（国道135号）は当町や伊豆方面と連絡する唯一の幹線道路であることから、恒常的に渋滞を引き起こし町民の日常生活をはじめ、経済活動等に重大な支障を来している状況です。

また、東名高速道路沼津インターより、三島・熱海を経て湘南方面を結ぶ新たな広域幹線道路として、伊豆湘南道路整備の推進を図っております。

- ・ 最近の異常気象による大雨や台風等により、真鶴道路が通行止めの規制を受けますと、本町は小田原方面への行き来が困難になり日常生活に重大な支障を来しております。

○課題

- ・ 真鶴道路の渋滞対策
- ・ 西湘バイパスの延伸
- ・ 伊豆湘南道路の建設
- ・ 県道740号（旧国道135号旧道）の整備

優れた自然環境や歴史・文化などの地域資源に恵まれた当町の特性を生かし、生活拠点の機能を強化するとともに、回遊性のある交流ネットワークの形成を図り、観光地としての多種・多目的な交通需要にふさわしい交通体系の確立を図る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

神奈川県湯河原町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
水害等の災害に強い国土づくり	真鶴道路(国道135号)・県道740号(旧国道135号旧道)の防災対策の拡充及び別ルートの確立 台風等により、真鶴道路(国道135号)が通行止めになり、並行してある県道740号(旧国道135号旧道)も通行止めになった。また、熱海方面も通行止めになり、当町は陸の孤島になってしまった。	リダンダンシー確保 (緊急交通路線・緊急輸送路線の確保)	